

## 日曜日礼拝順序

2018年12月23日 午前10時30分 主会堂

今日は、合同礼拝になりますので、主会堂にお集まりください。プログラムと日本語の讃美歌集は、入り口で手渡されます。今回は、各言語部が前で歌う代わりに、皆で一緒にそれぞれの言語でクリスマスの讃美歌を歌います。プログラムにも記載されますが、歌う曲は次の通りです。

讃美歌106 あらののはてに

讃美歌115 ああベツレヘムよ などかひとり

讃美歌109 きよしこのよる

飼い葉の桶で、Away in a Manger は讃美歌集にないので当日歌詞をお渡しします。

讃美歌94 久しく待ちにし

讃美歌112 諸人こぞりて

礼拝の途中で、Suenen Dulces Himnos というスペイン語の讃美歌を皆で歌います。（歌詞は用意されます。）

## 憩いの場

“言い尽くせない賜物”

“言い尽くせない賜物のゆえに、神に感謝する。”（コリント人への第二の手紙9章15節）

クリスマスというのは不思議で、毎年あるにもかかわらず、それぞれの年のクリスマスはユニークで印象に残るものようです。皆さんの思い出の中にも、多くのクリスマスがあると思います。私の中で印象的だったのは、1984年のクリスマスでした。その時教会のクリスマス礼拝で大学生のグループと歌った God's Unspeakable Gift という歌が、今まで聞いたクリスマスの歌の中でも一番美しく、印象に残るものだったからで、当時はまだ信仰に入ってから日が浅く、迷うことも多かったのですが、主イエスという素晴らしい贈り物を自分もいただいていることを、初めて理解できた次第です。

Unspeakable Gift、言い尽くせない賜物（贈り物）という表現は、コリント人への第二の手紙からですが、パウロが主イエスをどのように見ていたかをはっきりと表していないのでしょうか。言い尽くせない、という表現が面白いですね。パウロが改心して以来、彼とともに居続けてくださった主イエスに対する気持ちがよくわかります。主イエスはパウロにとって人生のすべてであり、言い尽くせないほどの存在でした。

洗練された議論を誇るギリシャ人たちに笑われても、ユダヤ人たちから迫害を受けても、その思いは変わることはありませんでした。同じように、主イエスという圧倒的な存在が、私たちをとらえているのでしょうか。言い尽くせない賜物ゆえに神に感謝する、という言葉、主イエスが御子としてこの世に来られたことを祝うクリスマスの時期に、互いにギフトを交換し合う前に、思い出してみましよう。（Scroggins 由紀）

## 記事: 消息

— 陳百合子姉、南部勝牧師、武井里花姉、小坂るみ姉、三縄都美子姉、Chieko Dano 姉、下竹寛子姉、英語部の Kate Whitmore 姉、Ron Barlow 兄、Donna Barlow 姉など、主の癒しを必要とされている方々のためにお祈りください。

— 先週の日曜日は 11、12 月生まれの兄弟姉妹たちをバースデーケーキでお祝いました。皆さん、おめでとうございます！。

## お知らせ

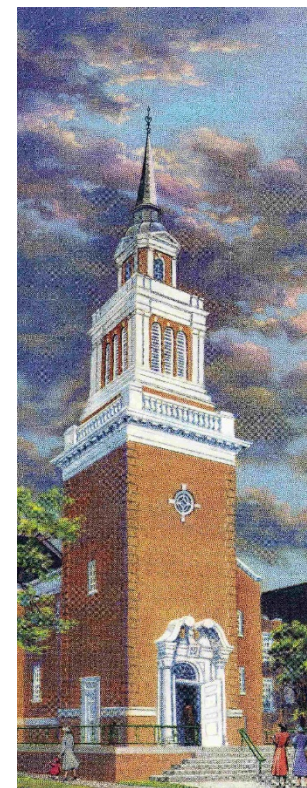
— 12月23日はクリスマスの合同礼拝が午前10時30分から主会堂であります。救い主イエスのご聖誕を共に祝いましょう。礼拝ではクリスマスの聖歌をそれぞれの言語でともに歌います。礼拝後はスペイン語部主催によるランチがあります。

今週の讃美：きよしこの夜

<https://www.youtube.com/watch?v=4puLybRGSaw>

---

発行：2018年12月19日 ノースショアバプテスト教会日本語部  
スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)  
電話：773-728-4200 Ex. 26



# 週報

第3701号  
2018年 12月23日

ノースショア バプテスト教会 日本語部  
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640  
Phone: 773-728-4200  
Web: [www.northshorebaptist.org](http://www.northshorebaptist.org)